

第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず<企画シート作成上の注意>をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) オオサカショウギョウダイガク	フリガナ) オービーピーコース	フリガナ) ハヤシコウジ
大阪商業大学	O B P コース	林幸治

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ) チームライダーズ	フリガナ) クボタ ユウキ	3
チームライダーズ	窪田 遊来	

研究テーマ（発表タイトル）

クラウドファンディングを行った企業の事業継続は可能か

1. 研究概要（目的・狙いなど）

本発表ではクラウドファンディングを行った企業を調査し、事業継続を可能にするためにはどのような問題を解決しなければならないかを明らかにし、解決策を提案したものである。

近年クラウドファンディング（以下 CF）が盛り上がりを見せおり、現在では様々な用途での CF が行われている。そこで我々は、CF で起業した場合や、商品開発を行った場合における事業の継続に着目した。本発表により CF を行った企業におけるゴーイングコンサーンは、どのような課題により実現できないのかを明らかにし、事業継続を可能にする方法を模索することで、事業継続を可能にすることが目的である。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

CF とはプロジェクトを行う実行者が、アイデア実現のために資金を調達する場であり、プロジェクトを応援する支援者はお金を支払いプロジェクトを応援する。実行者は支援金額に応じて支援者にリターン（商品）をわたす。

CF の種類には、社会の問題を解決する社会貢献型、イベントやお祭りを行う地域活性化・町おこし型、ベンチャー起業や新規開業のベンチャー開業型、BtoC での商品開発を行うモノづくり型がある。最近では市場性を確かめるテストマーケティングとして CF を行う企業も存在する。

今回はベンチャー開業型とモノづくり型に着目し、CF を行ったその後を調査した。

3. 研究テーマの課題

企業の課題としてゴーイングコンサーンがあり、**如何にして企業を継続させるかが大きな課題となる**。これは CF を行った企業においても同じ課題であるが、CF を行った企業における継続課題には、①**職人不足**と②**CF の効果が減少する**ことが我々の行ったインタビュー結果より判明した。①の職人不足とは、商品を製造するための専門的な技術を持った職人が不足しており、生産の拡大や技術の維持ができないことである。CF では資金は獲得できるが人材は確保することができないのが理由である。②の CF の効果が減少するでは、CF の効果である顧客と知名度が徐々に薄れてしまうことであり、これらの要因により事業継続が難しくなる。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

以上の課題を解決するために、①M&A②CFを継続的に活用することを提案する。M & Aにより他社から職人を確保するとともに、事業を安定して行うことが可能となる。逆にM & Aしてもらうことで、継続的に事業を行うことも可能である。また繰り返しCFを活用することで、知名度の再上昇と顧客の再獲得からCFの効果減少を防ぐことが可能になる。

これらの方策により事業を継続することを可能にするのではないかと考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

今回の調査では、実際にCFを行った「株式会社 WINGED WHEEL」と「株式会社 NFL」に調査を行った。株式会社 WINGED WHEEL は日本で唯一のハリケーンランプを製造する会社である。株式会社 NFL は紳士服の製造を主とする会社であり、今回のCFで武将をテーマとしたスーツの製造を行った。代表の川辺氏はFAAVO 大阪の運営を行っている。この2社から得られたインタビュー結果をもとに問題点を明らかにした。

6. 結果や今後の取り組み

事業継続を可能にするには、M&Aの実施や再度CFを活用することで可能になるのではないかとということがわかった。今回の調査では2社だけのサンプルであったが、今後より多くのサンプルを集め、事業継続を可能にする他の方策や、問題点を調査したいと考える。

7. 参考文献

株式会社 WINGED WHEEL 別所 由加代表

株式会社 NFL 川辺 友之 代表

株式会社 NFL : <http://nfl.co.jp/company/> アクセス日(2018/11/04)

八尾ものづくり net : https://www.yao-mono.jp/s_pr/?pkId=501066 アクセス日(2018/11/04)

Readyfor : <https://readyfor.jp/crowdfunding> アクセス日(2018/11/04)

FAAVO 大阪 : <https://faavo.jp/osaka/project/344> アクセス日(2018/11/04)

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

なし

●発表時に使用する成果物（例、商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

なし

【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただきます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。